

1 役割・機能の最適化と連携の強化

- 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
・小児・周産期医療、救急医療、急性期医療、感染症医療の役割を担う。
・民間医療機関の立地が困難な山間へき地での診療を芳野診療所で実施。
- 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
・地域の基幹病院として、各医療機関と連携し専門性の高い急性期医療を実施。
・地域医療支援病院として、紹介・逆紹介、救急医療の提供、当院の設備・器械等の共同利用、地域の医療従事者に対する研修等を実施。
- 機能分化・連携強化
・人吉市、天草市、水俣市等の医師不足の医療機関への診療応援を実施。
・WEBセミナーや地域医療従事者に対する研修会の開催、診療科ガイドブック等の定期送付により地域の医療機関との連携を図る。

2 医師・看護師等の確保と働き方改革

- 医師看護師等の確保
・医師は、熊本大学病院の各医局への派遣依頼を基本とし、確保が難しい診療科は独自に公募。臨床研修医の受け入れにより若手医師を確保。
・看護師は、令和5年度から病院独自に採用試験を実施。
- 医師の働き方改革への対応
・毎年度負担軽減・処遇改善計画を策定し業務の効率化と標準化を図る。
・変形労働時間制や勤務時間の繰り上げ／繰り下げ制度の活用、時間外勤務削減目標を設定し労働時間規制の遵守を図る。
・令和5年度以降、特定行為看護師の養成やタスクシフト／シェア及び勤務環境の改善に取り組むとともにAI問診票導入による業務の効率化を図る。

3 経営形態の見直し

- ・減収対策企業債による債務超過のため、地方独立行政法人への移行は困難な状況であり、今後も、地方公営企業法全部適用での経営を継続。

4 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組み

- ・平時には、個人防護具の供給体制確保及び後方支援病院との連携強化、感染症認定看護師の育成や新興感染症に関する職員教育・指導を実施。
・感染拡大時には、熊本県及び熊本市の要請により対応病床を運用。

5 施設・設備の最適化

- ・「長寿命化計画」及び「短期保全計画」に基づき施設・設備等の長寿命化を図り、財政負担の平準化を図る。
・デジタル化として、令和5年度にAI問診及び電子処方箋サービスを導入、令和7年度及び8年度に電子カルテ、部門システムを更新予定。

6-1 経営の効率化等 数値目標（経営指標）

		R5	R9
①収支改善	経常収支比率(%)	99.0	103.6
	修正医業収益比率(%)	91.2	94.2
	資金不足比率(%)	0	0
②収入確保	病床利用率(%)	90.0	95.0
	1日あたり外来患者数(人)	481	491
③経費削減	職員給与費対修正医業収益比率(%)	57.7	55.1
	後発医薬品使用割合(%)	90%以上	90%以上
④経営の安定性	医師数(人)	79	85
	看護師数(人)	422	483
	その他医療従事者数(人)	94	95

6-2 経営の効率化等 目標達成に向けた具体的な取組

1.医療者の確保	医師は熊本大学病院への依頼を基本とし、診療科により他大学病院への依頼、公募を実施。臨床研修医の受け入れを通じ若手医師を確保。看護師については病院独自採用試験を実施し職員採用の柔軟化を図る。
2.医療者の業務負担の軽減	負担軽減・処遇改善計画を策定し、業務の効率化と標準化に努める。 A 1問診票の導入による業務の効率化、変形労働時間制や勤務時間の繰り上げ／繰り下げ制度の推進、目標設定による時間外勤務削減に取り組む。
3.診療機能の充実・整備	医療の進歩や求められる変化に合わせた病院の組織体制の改編等適切な診療体制の構築に努める。診療設備や診療機器は更新計画により対応し、導入は財政の中長期見通しを踏まえ検討、判断する。
4.地域医療機関との連携の強化	診療科ガイドブックの配布、地域医療機関の医療従事者を対象とした講演会・研修会、病診連携懇談会の開催などにより地域医療機関とのさらなる連携強化を図り、紹介患者の増加に努める。かかりつけ医への逆紹介の徹底により外来患者数を適正化し、病棟業務の充実を図る。
5.くまもとメディカルネットワークの活用推進	くまもとメディカルネットワークを活用し患者の状態に合った質の高い一貫した医療サービスの提供に取り組む。
6.救急診療の拡充	救急搬送患者断り率の低下を目指すとともに、救急診療を担当する医師に対する救急診療能力の向上を図る。
7.効率的な病床運用	DPC II期以内の退院割合の増加並びにクリティカルパスの活用により効率的な病床運用を図る。各診療科の入院患者数を毎月分析し、適切な配分病床数への見直しと医療者への効率的な病床運用に対する意識付けを行う。
8.患者満足度の向上	患者サポートセンターにおける入院前支援業務と退院支援業務の拡充と相談業務の強化を図る。毎年入院、外来患者満足度調査を実施し、指摘や意見に対し早急な対応を図る。
9.経費の削減	医薬品及び診療材料については、熊本大学病院との共同購入を継続する。後発医薬品使用を徹底し、委託料、保守料等については業務内容をふまえた契約の変更に取り組む。
10.経営戦略の策定	年度ごとに達成すべきビジョンのもとに、ビジョンに基づいた経営戦略を策定し、具体的行動計画、KGI（目標指数）と目標値を示す。各部署・部門は経営戦略に基づいた年間活動目標を策定し取り組む。